



【温水使用によるボンベ保温筒】

**貴殿の会社ではアンモニアガス・半導体用ガス・液化石油ガス等の
液化ガスボンベの圧力が低下して、所定の圧力が得られず困っていませんか？**

その理由は

ガスを使用していると、時間と共に気化熱不足により圧力が低下してしまうからです(特に冬場)。

圧力低下を防ぐには

ボンベを加熱すれば解消出来ます。

高圧ガスボンベを加熱する場合のご注意

ボンベは40℃以上に温度を上げられません。

一般高圧ガス保安規則 6条の2項の8のホ、49条の4、60条の7。

液化石油ガス保安規則 6条の2項の7のニ、48条の2、58条の5。

液体にて加熱する場合のご注意

液体による錆の発生にご注意ください。(液体に浸す場合は県にご相談下さい。)

一般高圧ガス保安規則 60条の3のロおよび4。

液化石油ガス保安規則 58条の3のロおよび4。

高圧ガスボンベは火気2m以上離さなければなりません。

※火気とはコンセント、蛍光灯、モーター、電化製品も含まれます。

一般高圧ガス保安規則 6条の2項の8のニ。

液化石油ガス保安規則 6条の2項の7のハ。

保温筒のご使用

当保温筒をご使用すればヒーターによる温水の循環、もしくは工場内のスチーム等を使用した温水の循環にてボンベの加熱が出来ます。

並列にボンベ保温筒をつなげば何本でもボンベの加熱が出来ます。

シリンダーキャビネットにも

シリンダーキャビネットの中でも使用出来ます。(スペース確認が必要です。)